

大阪・関西万博関係府省庁連絡会議（第5回）

議事要旨

日 時： 令和6年9月25日（水） 14：00～15：00

場 所： 合同庁舎4号館 1214特別会議室

出席者：

（議長）	国際博覧会担当大臣	自見 はなこ
（副議長）	内閣官房副長官補（内政担当）	阪田 渉
（副議長）	内閣官房国際博覧会推進本部事務局長代理	茂木 正
	内閣官房国際博覧会推進本部事務局次長	井上 学
	内閣官房国際博覧会推進本部事務局次長兼外務省経済局審議官	小林 出
	内閣官房国際博覧会推進本部事務局次長	西海 重和
	内閣官房国際博覧会推進本部事務局次長	北尾 昌也
	内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）	西山 英将
	経済産業省大臣官房審議官（国際博覧会担当）	浦上健一朗
	内閣官房危機管理審議官	林 学
	内閣官房内閣審議官（内閣広報室）	畠山 貴晃
	内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局参事官	赤羽 元
	内閣官房アイヌ総合政策室参事官補佐	加藤 直子
	内閣官房水循環政策本部事務局長	齋藤 博之
	内閣府大臣官房審議官（防災担当）	河合 宏一
	内閣府大臣官房審議官（男女共同参画局）	小八木 大成
	内閣府地方創生推進事務局参事官	谷 浩
	内閣府知的財産戦略推進事務局次長	守山 宏道
	内閣府科学技術・イノベーション推進事務局審議官	川上 大輔
	内閣府宇宙開発戦略推進事務局長	風木 淳
	内閣府総合海洋政策推進事務局長	高杉 典弘
	警察庁長官官房総括審議官	重松 弘教
	消費者庁次長	吉岡 秀弥
	こども家庭庁長官官房長	中村 英正
	デジタル庁国民向けサービスグループ審議官	三浦 明
	復興庁統括官	山野 謙
	総務省大臣官房企画課課長補佐	吉澤 恵梨華
	出入国在留管理庁審議官	清水 洋樹
	財務省大臣官房総合政策課政策推進室長	坂東 慶隆
	文部科学省大臣官房総括審議官	淵上 孝
	文化庁次長	森田 正信
	厚生労働省政策統括官（総合政策担当）	朝川 知昭
	農林水産省大臣官房総括審議官	山口 靖
	国土交通省総合政策局長	塩見 英之
	観光庁次長	平嶋 隆司
	環境省総合環境政策統括官	秦 康之
	防衛省大臣官房文書課長	鈴木 雄智
	2025年日本国際博覧会協会副事務総長	小野 平八郎

1. 冒頭挨拶

○自見大臣

- ・本日は、お忙しいところお集まりいただき感謝。
- ・来月には大阪・関西万博まで開幕半年前を迎えることとなり、チケットの来場の予約が始まる。また、パビリオンの建設については、建設事業者との契約も概ね済んでいる状況であり、8月21日には会場のシンボルである大屋根リングが一つにつながるなど万博開幕に向けた準備は着々と進んでいるところ。万博の準備をここまで進めることができたことについて、関係省庁、協会、施工事業者の方をはじめ現場の方々に感謝申し上げる。
- ・現在、準備の段階は、建設から運営へとシフトしている中、今後は、万博の開幕に向けて、会期中の運営面の取組の充実を図っていく必要がある。
- ・今月10日の「大阪・関西万博に関する関係者会合」において、岸田総理から大きく4点の課題が挙げられた。1点目は、来場者増に向け、機運醸成に取り組むこと。2点目は、インバウンド需要を万博に取り込み、日本全国に足を運んでもらうとともに、ビジネスマッチングの取組も進めていくこと。3点目は、暑さ対策やメタンガス対策などによる安全・円滑な会場運営や、駅での雑踏対策など来場者輸送に安全を期すること。4点目は、来場者の方が安心して万博を楽しんでもらえるよう災害時の対応に万全を期することである。
- ・本日は総理から指示された課題を踏まえ、今後取り組むべき内容について、関係府省庁の皆様と共有し、今後の連携強化と取組のより一層の加速化を図っていきたいと思っている。

2. 事務局等からの説明

○小野 2025 年日本国際博覧会協会副事務総長

- ・資料1「2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の進捗状況」により説明
- ・(P2) 万博会場の写真を掲載している。右側が8月20日時点の写真であるが、リングはこの時点でつながっており、後は植栽の作業となる。リングの外側には民間パビリオンや政府パビリオンが建設されるが、これらは既に外観が出来てきている。他方、リングの内側には海外パビリオンが建設されるが、こちらは着工が遅かったこともあり、今まさに工事たけなわという状況である。
- ・(P3) 会場の真ん中には静けさの森があり、その南側に8人のテーマ事業プロデューサーが「いのち」をテーマに出展されるシグネチャーパビリオンが並ぶ。海外パビリオンは、各国独自に建てるものと、共同館に入るものがあり、合わせて約160か国である。この中にはイスラエル、パレスチナ、イランも入っており、世界は一つということを象徴できるものになっていると思う。
- ・(P4) 発表されている海外パビリオンの情報である。
- ・(P5) 右上が東ゲートになっており、メインのエントランスである。夢洲駅という地下鉄の駅ができるので、駅を利用される方は東ゲートから入ってくることになる。西側にもエントランスがあり、こちらはバスを利用される方が入ってくることになる。
- ・(P6) 未来社会を見せるということが万博のこれまでの1つの理念であるが、今回もAIや、ヘルスケアということでiPS心臓、GXということでカーボンリサイクルファクトリーというものが出来ている。

- ・(P7～8) 主催者イベントとしては、「One World, One Planet」をテーマに、リング全体を使った音と光のショーという形で毎日イベントを開催する。水上ショーでは、リングの一部に水が入っていることからこの水の上で音と光のショーを行う。その他、様々なイベントが毎日いくつも開催される。
- ・(P9～10) 各省庁の皆様にもご連携いただき省庁連携催事を実施する。ご協力いただき感謝。
- ・(P11) 単にテーマパーク的なものというだけでなく、多くの国が参加するのでビジネスマッチングも重要であると思っている。約 160 か国の参加国で 184 日間の開催期間なので、国につき 1 日ずつナショナルデーを決めている。日に合わせて各国の要人やビジネス関係の団体が来日されることが予想されるので、そうした機会に様々なビジネス上のお話をする場を設けたいと思っている。
- ・(P12) 全国の自治体にご協力をいただいて、PR イベントなどを実施いただいている。

○井上内閣官房国際博覧会推進本部事務局次長

- ・資料 2 「2025 年大阪・関西万博アクションプラン Ver. 6 のポイント」により説明
- ・続いて、内閣官房国際博覧会推進本部事務局の井上からアクションプラン Ver. 6 の概要について説明させていただく。
- ・まずは各府省庁の皆様にはアクションプラン Ver. 6 の更新へのご協力に感謝。
- ・アクションプラン Ver. 6 については、先週 9 月 20 日、国際博覧会推進本部にて了承された。アクションプランは令和 3 年以降作成を行い、今回が 6 回目のアップデートとなる。
- ・万博の開催までも半年であり、アクションプランも仕上げの段階。今回のポイントも新たな項目の追加ではなく、政府の各取組について、万博内での実施場所、期間が決まってきたため、そのことを記載している。
- ・(P2) 全体像をおさらいさせていただくと、3 点ある。1 点目は未来社会の体験である。今回の万博はコロナ禍後の初の万博であり、命をテーマにしている。政府の取組について先行して、少子高齢化などの社会問題に対処しつつ、一人一人が豊かな将来の生活像を体験いただく。持続可能で強靱な社会については復興の姿やカーボンニュートラル、循環型社会を体験いただく。
- ・2 点目は日本の魅力発信。万博は多くの人々が来場し、注目度も高い。日本の文化、アニメなど地域コンテンツを発信していく。
- ・3 点目は万博を契機とした地域活性化。万博のメリットを全国に広げていく。一昨年、協力いただき、万博交流イニシアチブを作成し、万博を契機とした国際交流を進めている。
- ・(P3) 実施効果を高めるための取組である。1 点目はテーマウィークとの連動である。テーマウィークは博覧会協会が実施するもので、8 つの社会課題をテーマにあげている。それぞれ 1 週間から 10 日間程度期間を定め、国内外から学識経験者、政府関係者、産業界の方々が一堂に集まり、集中的に国際的なシンポジウム、関連イベントを開催し、交流を深める。これに連動して、政府主催のイベントなども開催する。体験に加えて、世界の関係者とも交流も深めることも取組の一つである。
- ・会場外での各種イベントも行う。ビジネスマッチングの話もテーマウィークとナショナル

デーなど数多くのビジネスマンが集まる。会場外にジャパンヘルスなど大型の国際イベントを行う。各国からビジネスミッションの団体がいらっしやるため、商談会や視察のアレンジも行う。

- ・(P4以降)、それぞれのテーマと各府省庁から協力いただいた内容を掲載している。
- ・(P20) 先ほど3点目であげた万博国際交流プログラムを掲載。オリパラの時のホストタウンのイメージ。地域と海外が万博を契機に交流してもらおう。多くの自治体に参加協力いただいた。現在、111件。また追加となるが、125程度になる予定。概要は以上となる。
- ・最後に3点お伝えしたい。1点目は、各取組については来年実施されるが、予算を含め準備をお願いしたい。
- ・2点目はテーマウィークなど各種イベントがあるが、展示会の運営など別途依頼することがあるかと思うが協力をお願いしたい。
- ・3点目は本日、多くの方に出席していただいているが、ぜひ会場にも足を運んでいただきたい。ぜひ関係省庁、関係者に万博の広報周知をお願いしたい。
- ・準備も最終段階となっている。引き続き協力をお願いしたい。

○茂木内閣官房国際博覧会推進本部事務局長代理

- ・資料3「大阪・関西万博に向けて関係府省庁が今後取り組むべき内容」により説明
- ・忙しい中、お集まりいただき感謝。またこれまで多大なるご尽力について、先ほど大臣からもご発言があったが、私からも感謝申し上げる。来年4月に万博が開催されるが、引き続き協力をお願いする。日本国政府が主催する万博であるので、ぜひ成功させたい。
- ・9月10日に総理官邸で、関係者会合が開催された。岸田総理から機運醸成、インバウンド需要、ビジネスマッチング、安全の確保、大規模災害への備え等、様々な運営の課題等を含めて、指示を頂戴した。今日はこの内容をブレイクダウンして、各省庁の取組について整理させていただいたので説明させていただく。
- ・(P3) 万博への機運醸成を記載。大阪での認知度は高くなってきているが、全国的に見ればまだまだである。したがって、いろいろなコンテンツがでてきているのでこれをPRする。博覧会協会でも行うが、政府、経産省を中心にPRするとともに、ぜひ各省庁の関係者、各業界の関係者にポスターを貼っていただくなどご支援をお願いしたい。
- ・2つ目だがインバウンド需要の更なる発掘である。海外からも多くの来場者に来ていただきたい。すでに在外公館を通じて、様々なPRをさせていただいており、国交省の協力の下にJNTOにも海外で広報いただいている。引き続き各国でのPRをお願いしたい。観光庁ではone more placeという取組を進めていただいております、訪日客に万博だけでなくもう1ヵ所見てもらう取組を推進していただいております、引き続き取組を継続いただきたい。
- ・参加国が161か国、国際機関も多数参加する。各国ナショナルデーが行われ、様々なミッションが発生する。こういう機会を通じたビジネスマッチングが非常に重要な機会である。
- ・安全・円滑な開催に向けた取組についてである。開催されると10万人以上の方が来場される。会場に来るまでのアクセスなどについて、関係省庁にご協力をお願いしたい。まずは来場者の安全確保。博覧会協会で警備計画を作成、関係機関との連携など様々な計画を作成している。今後は詳細のマニュアルや実際の訓練などを行うため、関係機関の皆様

と連携した取組が必要となる。関係機関の皆様には協力をお願いしたい。

- ・(P5) 来場者輸送、駅等の雑踏対策など円滑な交通インフラの整備である。博覧会協会からも説明があったが、会場への地下鉄の整備、近隣の駐車場からシャトルバスでアクセスするパーク&ライドを実施予定である。これらの運営を確実に準備していく必要がある。大型の荷物を預けられるロッカーを大阪市内に設置し、荷物を預けて来場してもらう取組を実施している。こういった仕組みを進めているところだが、バスやトラックなど運送事業者、駅ターミナルの鉄道事業者の協力は不可欠。万博開催期間中は周辺の安全対策など国交省から関係事業者への対応をお願いしたい。関係府省庁へはTDMへの取組の協力をお願いしたい。大阪市内、特に大阪の地下鉄中央線が多くの方がご乗車して来場する予定。朝の通勤ラッシュ時は混雑する可能性があるため、今大阪市内でTDMの取組を進めている。9月30日から10月4日までトライアルということで関係企業に協力いただき、時差出勤などを行ってもらう。関係府省庁にはすでをお願いしているが、再度の周知をお願いし、課題を整理した上で、更に取組が必要なら進めていく。
- ・海外賓客等の接遇については、ナショナルデーなどでミッション、VIPなど海外から賓客がある。外務省をはじめ関係省庁には、対応方針の作成、警備体制の構築、出入国の円滑化など対応について協力をお願いしたい。
- ・大規模災害発生時の対応について。場所は大阪湾の埋め立て地である。例えば大きな地震の時の対応については、基本計画を作成し、関係省庁にはアドバイスをいただいているところである。本番が近づいているため、詳細なマニュアルの作成、訓練などの実施が必要。会場内での情報共有の方法も重要。161か国のパビリオンには様々な外国の方が来るので何かあった時の在外公館への情報連絡体制の整理が必要。会場で災害があれば、いったん橋、道路を通行止めする可能性があるが、道路警戒などをどうするのか、関係府省庁に相談させていただきたい。
- ・(P6) IRの工事の調整だが、連絡会議を立ち上げ、調整していく。パビリオンの着実な建設も課題である。小野副事務総長からの説明もあったが、しっかりと工程管理をしていく。
- ・博覧会協会の体制は804名である。これが本番になると900名程度になる。大変恐縮だが、関係府省庁の皆様にご協力いただき更なる追加派遣をお願いしたいと思っている。
- ・参加国の様々な課題についてはワン・ストップ・ショップ(OSS)にて一括で相談できる。様々な許認可、民間の手続き、納税など手続きがあるため、関係機関に協力いただき、一括の窓口を設置した。引き続き円滑な運用を進める。
- ・引き続き協力をお願いしたい。

3. 各省からの説明

○浦上経済産業省大臣官房審議官（国際博覧会担当）

- ・ここ1カ月ほどでパビリオンやイベントの中身のコンテンツが次々と出てきたが、これらは見ていただくと絶対に面白いと思う。特に次の時代を担う若い人達に、ぜひ実際に現場に足を運んで体感していただきたい。経済産業省としても機運醸成は先頭に立って自信を持って訴えていきたい。皆様方もぜひ自信を持ってお勧めいただければと思う。
- ・冒頭、自見大臣からも説明のあったとおり、博覧会協会が中心となって取り組むべき課題

も、会場建設から実際の運営に重点がシフトしてきている。博覧会協会を所管する経済産業省としても、様々な課題についてしっかりとフォローして参りたい。

- ・そうした課題に対処するため、会期中の博覧会協会の体制については、既に経済産業省として局長級幹部をはじめ40名を超える職員を派遣しているが、追加派遣についても当省としてしっかりと対応していきたい。
- ・なお、博覧会協会の予算執行にあたっては、予算執行監視委員会の枠組みも活用しながら、費用の適切性について継続的にしっかりとモニタリングを行い、引き続き関連予算の適切な執行を進めてまいりたい。
- ・改めて、経済産業省として万博の円滑な開催に向けて前面に立って取り組むとともに、関係府省庁におかれても重ねてのご協力を御願いたい。

○小林内閣官房国際博覧会推進本部事務局次長兼外務省経済局審議官

- ・万博開幕まで200日となり、外務省としても万博の成功に向けて、関係省庁及び博覧会協会と協力しつつ、参加国との調整や働きかけを行っているところ。外務省では引き続き、各国の参加・不参加の調整や出展準備の側面支援を行っているほか、在外公館におけるレセプションや各種イベントを活用し、海外での機運醸成活動、海外からの誘客、ビジネスマッチングのための取組にも力を入れており、引き続き万博の成功に貢献していきたいと思っている。
- ・また、万博期間中のナショナルデー・スペシャルデーには、各国・国際機関から要人が来訪することが見込まれる。各国等要人の受入れを万全にするためには、政府全体として適切な体制作りを行う必要がある。今後、交通事業者の協力確保、警備体制の構築、出入国の円滑化等、具体的な諸課題を解決していき、各国賓客の訪日が成功裡に行われるよう、関係各省庁の御協力を御願い申し上げるとともに、外務省としても、関係者と緊密に連携し、自らの役割をしっかりと果たしていきたい。

○川上内閣府科学技術・イノベーション推進事務局審議官

- ・科学技術・イノベーション政策に関しては、現在の第6期科学技術・イノベーション基本計画において、サイバー空間とフィジカル空間の高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会である「Society5.0」の実現を掲げている。
- ・同計画において、大阪・関西万博については「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする万博は、まさに、Society 5.0のショーケースにふさわしい。機を逸することなく、未来社会の具体像を提示していかなければならない。」としており、科学技術・イノベーション推進事務局では、これまでに関係省庁と共に万博会場の内外において、①量子技術が切り拓く未来社会～人類は量子にどう向き合うか。量子の過去・現在・未来～、②量子宇宙・海洋地球×芸術～大きすぎて見えないもの、小さすぎて見えないもの～、③ムーンショット型研究開発制度、④戦略的イノベーション創造プログラム の4つのテーマの展示の準備を進めてきたところ。
- ・万博に来場する国内外の方々に、我が国の科学技術・イノベーションへの一層の魅力と可

能性を感じていただけるような展示となるよう、引き続き、関係省庁と連携・協力していきたいと思っている。

○重松警察庁長官官房総括審議官

- ・警察庁からは「安全・円滑な開催に向けた取組」の観点から申し上げます。まず、万博警備に向け、警察庁では「大阪・関西万博警備対策推進室」を、大阪府警察では「大阪府警察万博対策本部」をそれぞれ設置しています。
- ・万博をめぐっては、国内外の要人を含む多くの来場者が予想されるとともに、いわゆるローン・オフエンダー等による違法行為やサイバー攻撃、ドローンの悪用等によるテロ等への対策に万全を期す必要があります。この観点から、主催者である日本国際博覧会協会をはじめ、大阪府・大阪市、鉄道事業者等の関係機関による自主警備措置や雑踏事故防止対策、交通対策等が適切に講じられるよう、警察としてこれら関係機関・団体と連携して、国民の理解と協力の下、万博警備に必要な取組を進めてまいります。
- ・また、大規模災害に対する備えとして、日本国際博覧会協会が策定した防災実施計画を踏まえ、警察として、関係機関・団体と連携し、避難誘導を含めた災害対策に取り組むとともに、実戦訓練を通じた対処能力の向上を図ってまいります。
- ・さらに、令和7年度予算概算要求において、以上のような万博警備に必要な経費を計上しているところであります。
- ・警察として、安全・円滑な万博の開催という観点から、所要の取組を鋭意推進してまいりますので、関係各府省のご理解とご協力をお願い申し上げます。

○淵上文部科学省大臣官房総括審議官

- ・「未来社会の実験場」をコンセプトとしている大阪・関西万博の開催にあたって、文部科学省としては、主に科学技術・文化芸術・スポーツの分野で万博の成功に貢献できるよう、様々な取組を行っている。
- ・科学技術分野については、万博会期中に、自律学習ロボットや核融合エネルギー、宇宙開発に関する展示、および視覚障害者を目的地まで安全に誘導するAIスーツケースの実証等を企画しているところ。また、防災DXの取組を活用して災害や安全に係る情報提供を行うことにより、会場運営を支援することを予定している。万博を舞台として、我が国における最先端の技術や成果を国内外に示し、未来社会を体感できるような取組を実施できればと考えている。
- ・また、文化芸術については、「日本の美と心」をテーマとする「日本博2.0」を展開しており、伝統芸能や舞台芸術、音楽、メディア芸術、アート等の様々な分野の事業を採択し、既に全国各地で取組を行っている。会期中は会場内外での「日本博2.0」の取組とあわせて、日本の食文化や建築文化も発信することとしており、我が国の文化芸術の魅力を世界各国に発信したい。
- ・スポーツについては、スポーツを通じて共生社会の実現に資する事例紹介、先端技

術を活用した新しい「する・みる・ささえる」スポーツ体験、今後日本で開催される大規模国際競技大会と連携した取組などを行い、スポーツの多様性や新たな可能性を国内外に訴求することを目指している。

- ・文部科学省として、引き続き関係機関と連携しながら万博の成功に向けて尽力したい。

○朝川厚生労働省政策統括官(総合政策担当)

- ・厚生労働省では、経済産業省等と連携して、6月下旬の健康とウェルビーイングウィークにおいて、「未来のヘルスケア技術の体験」を提供する展示イベントを行う。
- ・日本は世界最高水準の平均寿命を誇るとともに、世界に先駆けて超高齢社会を迎えており、健康長寿社会の実現に向け、世界最高水準の医療・ヘルスケアサービスの提供に資する研究開発及び新産業創出を推進している。大阪・関西万博では、それらの成果を会場内で実装し、健康な生活及び長寿を享受できる持続可能な社会の在り方を示すと同時に、世界に向けて日本型医療・ヘルスケアサービスを発信する。
- ・具体的には、例えば、世界に先駆けて開発された日本の先進的な医薬品・医療機器等や、介護現場における生産性向上の推進に向けた介護ロボット等のテクノロジー、障害者のニーズを的確に反映した支援機器及び支援技術の情報発信を行う。その他にも、来場者の Personal Health Record (PHR) を会期前から蓄積することを推奨し、会場内において「運動・食事・睡眠」等の領域で個々人の健康状態に即してカスタマイズされたサービスを提供する。
- ・準備の大詰めを迎えることとなりますが、滞りなく展示イベントが行われるよう、引き続き尽力していく。

○山口農林水産省大臣官房総括審議官

- ・農林水産省としては、大阪・関西万博を「農林水産物・食品輸出立国」としての魅力を世界に発信していく上で、極めて重要な機会と捉えている。そのため、「食と暮らしの未来ウィーク」において、国内外の来場者に向け、日本の多様な食文化やそれを支える農林水産業、農山漁村の魅力等を効果的にPRできるよう、国税庁の皆様、文化庁の皆様と連携し、出展準備を進めている。
- ・併せて、木を暮らしに取り入れる「ウッド・チェンジ」、「みどりの食料システム戦略」の実現に向けた取組、スマート技術、フードテックなど、我が国の有する農林水産分野における最先端技術についてもしっかりとPRできるよう、準備を進めていく。
- ・また、万博会場の営業施設等における国産食材の活用推進、食品ロス削減に向けた啓発についても、消費者庁の皆様とも連携しながら取り組んでいく。
- ・これらの取組を通じて、国産農林水産物の需要拡大、輸出の促進等に繋がるよう、努めていく。

○塩見国土交通省総合政策局長

- ・国土交通省としては、政府の一員として、大阪・関西万博の成功に向けて、経済産業省とも協力しながら取り組んでいるところ。機運醸成に向けては、交通事業者等によるさらなる広報に努めていくとともに、今回改定されたアクションプランに沿ってモビリティの技術や防災技術といったコンテンツを的確に実施できるよう準備を進めていく。
- ・次に、安全な開催に向けては、海上保安庁が関係機関と連携しながら要領等に基づいて、来場者等の安全確保、大規模災害が発生した際の対応等の準備をこれから進めていくところ。また、国土交通省として、交通事業者等に依頼をして、ターミナル駅などの安全対策についてもしっかりと取り組んでいく。
- ・最後に、海外パビリオンの関係で、建設工事の円滑な実施に向けて、これまでも局長級の会議を経済産業省や博覧会協会と共に設けて、大阪府市、建設業界との調整に努めてきた。今後も更なる施工環境の整備に向けて努めていきたいと思う。

○平嶋観光庁次長

- ・訪日外国人旅行者数が単月では 11 ヶ月連続でコロナ前の水準を順調に回復しつつある中で、来年開催される大阪・関西万博は、日本の魅力を世界に発信していく上で極めて重要な機会であり、このイベントを契機としてインバウンドを日本全国へ誘客していくことは大変重要であると認識している。
- ・観光庁としては、これまで日本政府観光局（JNTO）を通じ、「JNTO ウェブサイトへの万博特設ページの作成や多言語による SNS 発信、海外メディアの招請による万博を契機とした日本各地の魅力の発信」、「海外の旅行会社の招請による旅行商品の造成促進」、「各国で行われるイベントにおける万博関連の映像発信、チラシ配布やポスターの掲示による訪日旅行のイメージ喚起」などに取り組んできたところ。
- ・更に開催年である 2025 年においては、「万博会場及び関連地域へのインフルエンサー招請による地域の魅力発信」、「デジタルアートを活用した地方周遊の促進」、「JNTO の万博特設ページの更なる拡充による地域訪問の喚起」などの取組を進めていきたいと考えている。
- ・加えて、訪日観光客が万博に加えてもう 1 か所観光地を訪れる「One More Place」の取組として、博覧会協会が設置されるポータルサイトへの各地域の魅力的な観光地の掲載を積極的に進めていく。また、地域の観光事業者から旅行会社にポータルサイトへの掲載を呼びかける支援メニューの活用を考えている。引き続き博覧会協会とも協力しながら、地方にインバウンドを引っ張っていけるよう頑張っていきたい。

4. 意見交換・質疑応答

○中村こども家庭庁長官官房長

- ・私自身、過去に、東京オリンピック・パラリンピック大会に運営サイドとして関わらせていただいたことがあるので、その立場から述べさせてもらう。
- ・東京オリンピックでは、日本の選手村のおもてなしのきめの細かい運営が良かったということが世界で報じられた。また、オリンピックだけでなくパラリンピックについても日々国内で報道されたことにより、多様性や障がい者に対する見方が大会によって変わったということもあると思う。万博も日々の報道が色々あり、それに対して機運醸成の観点から

向き合うことも大事であるが、もう少し中長期的に考えて、大きなレガシーが残るということが大事であるとオリパラを運営した立場から強く感じたことを申し上げる。

- ・また、これだけ大きな国際イベントは、地方と国と運営主体が一体になることにより成功すると思う。最初のうちは人や金で仕事の割り揉めがあるかもしれないが、200 日前を過ぎると一体感がでてくるタイミングであると思うので、しっかりと対応することが万博の成功につながると思っている。

5. 閉会挨拶

○阪田内閣官房副長官補（内政担当）

- ・本日挙げられた課題や対応は、いずれも万博の成功に不可欠なものであり、資料には、関係する府省庁名を記載させていただいている。各府省庁それぞれの持ち場において、責任をもって、予算を含め必要な措置を講じ、実現に向けて最大限取り組んでもらいたい。
- ・また、総理指示にもあったとおり博覧会協会の体制強化も重要。別途、個別にお願いをするが、経済産業省だけでなく、特に関連する外務省、国交省はじめ本日出席の各府省庁におかれては、地方支分局や独法の人材も含め人員の追加派遣について検討・協力いただきたい。
- ・万博まで残り 7 か月を切っており、残された時間は限られている。本日の会議を踏まえ、各府省庁においてより一層取組を加速化させてもらいたい。

○自見大臣

- ・本日、各府省庁から取組内容を伺い、万博に向けて着々と取り組んでいただいていることが分かった。各府省庁のこれまでの取組に感謝。
- ・その上で、本日、議論された課題や今後の対応については、今後、各府省庁においてしっかりと取組を進めていただくようお願いする。引き続き、アクションプランの実現に向けた取組の推進についてもお願いしたい。
- ・本日紹介がなかったが、配布している資料にパンフレットがある。開いていただき左側が海外パビリオンの紹介になっている。国土交通省、外務省の関係の皆様にご尽力いただいたことにより、それぞれの国が政府をあげて万博に参加され、パビリオンの建築が進んでいるところ。
- ・パンフレットにはリングの絵があるが、リングの上に立つと、地球儀を上からのぞき込んでいるような壮大な景色が見える。リング自体も木造建築であることから、木の香りと潮風が体感できる。コロナ渦で青春を失われたこどもたちも多いと思うので、ぜひ会場に足を運んでいただければと思う。
- ・また、参加する 161 か国のうち 6 割は発展途上国である。これらの発展途上国には、240 億円の支援を打ち出し万博に誘致しており、渡航費用や滞在費用を支援して参加いただいている。会期中の半年間でこれらの発展途上国の方々は日本のファンになってもらえると思っている。そういう長い意味で日本の国の信用信頼を勝ち得る大変意義のある万博になると思っている。
- ・私も万博が開幕すれば毎日色々なパビリオンに参加したいと思っているほど大変楽しみ

にしている。チケット販売について、各省庁の皆様をお願いすることもあると思うが、ぜひご協力をお願いしたい。ホスト国として、世界の皆様をお迎えする、そして我が国の経済発展にも寄与する大きな意義のある万博にしていきたいと思っているので、これからも残りわずかではあるが引き続きご協力をお願いしたい。